

いよいよ就職試験本番 ～就職試験出陣式～

9月18日から企業の就職試験が始まります。就職試験を前に、3年生が就職試験出陣式を行いました。

就職試験を受ける14名の生徒は、一人ずつ順番に、クラスの他の生徒たちに向けて、就職試験に臨むにあたり決意表明を行いました。どの生徒も、受験する会社の志望理由等を、緊張しながらも、一生懸命に発表していました。

出陣式での決意表明は、面接試験のより練習になります。試験本番でも、落ち着いて自己PRをしてきてほしいと思います。

(出陣式での学校長の話から)

面接が重要

- ・大学や専門学校は、入学してから授業を受けて勉強を続ける。だから筆記試験で教科のペーパーテストを重視する。
- ・しかし、会社は働いてもらいたい。会社のために、そしてほかの社員と協力しながら成果を上げてほしい、会社に貢献する仕事がしてほしい。
- ・仕事のセンスがある人かどうか問われる。仕事のセンスがある人とは、自分で判断して行動する力がある人。相手に明確に説明することができる人。
- ・会社で採用するのにふさわしいかが面接で判断される。

面接では

- ・確かに、大きな声で、礼儀正しくは必要だが、それができるだけではプラスにはならない。ただし、できなければマイナスになる。
- ・プラスにするには、自分の良いところを積極的に知ってもらう。この点ではAO入試や推薦で進学する人も同じ。

みんなの良いところを面接官に理解してもらおう

- ・具体的に語ることのできる内容を準備しよう。
学校生活でがんばったこと、印象に残ったこと、しんどかったこと失敗したこと、でもそれを克服した経験等。
- ・簡潔に述べられるように、自分の中で言いたいことを整理しておこう。
メモを用意して、1項目を1分程度で話す練習をしておくこと、丸暗記はしない。
- ・試験当日までに練習を繰り返そう。
慣れることが大切。視線や手の位置など実際にやってみないと本番で緊張して実力が発揮できない。
- ・明るい笑顔が大切。一緒に仕事がしたい、仕事を任せたいという安心感につながる。

(校長 高橋信之)